

ホラッ！ 4月の 屋外園が呼んでいますよ！！

京都市青少年科学センター

屋外園の散策にお使いください。使い終わったら もとにもどしてください。

ユキヤナギ (バラ科)

日本原産。春に5弁で雪のような白い小さな花を小枝全体に群がるようにつけます。秋には紅葉し、黄色や橙色、ときには赤色に色づくこともあります。本州、四国、九州に分布しますが、自生地はとても少なく、自生種は石川県で絶滅危惧Ⅰ類に指定されているなど、地域的には絶滅が危惧されています。



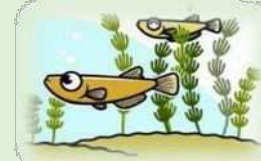
フジ (マメ科)

たっぷりとした房状の花序が、頭上から降り注ぐように咲くフジは、日本原産のつる性花木で、その美しさから人気が高く、品種数も多く世界中で植栽されています。代表的な紫色以外にもさまざまな花色がありますが、花色によって開花期が少し異なり、薄紅、紫、白、黄の順に開花していきます。



水中にも春はやってきています！

アメリカザリガニやメダカなどが活動を始めています。



屋外園のザリガニや花を採取したりしないでください。みんなで観察して楽しみましょう。

アメリカザリガニはアカミミガメとともに、令和5年6月1日から一部の規制を適用除外とする「条件付特定外来生物(通称)」に指定されています。

一般家庭等での飼養等や無償での譲渡等については許可無しで行うことができますが、販売・頒布(広く配ること)を目的とした飼養等、販売、頒布、購入、輸入、野外への放出等については、原則として通常の特定外来生物と同様の規制がかかります。

ホウチャクソウ (イヌサフラン科, 旧ユリ科)

山地の林下に見られます。宝鐸とは寺院の軒にぶら下がっている風鈴のような形をした飾りのことです。花の形が似ていますね。



シャクナゲ (ツツジ科)

奥深い山地の岩地などに自生する常緑の低木です。庭木としてよく植えられます。西洋シャクナゲも人気があります。



シャガ (アヤメ科)

山地の湿った林下に見られます。斜面などに群生します。うす紫色の花の形がチョウのようです。



シラン (ラン科)

自生種もありますが、広く植栽されています。和名は紫蘭。その名の通り紫色の花がきれいです。



ミツバツツジ・ウンゼンツツジ・モチツツジ・ヒラドツツジ (ツツジ科)

山裾にはいろいろなツツジが花を咲かせます。蜜を求めてチョウやアブなどの昆虫がよく訪れます。

イカリソウ (メギ科)

花の形が船の錨に似ているところからつけられた名です。別名「三枝九葉草」枝と葉を観察してみましょう。



ヤエヤマブキ (バラ科)

ヤマブキ(一重の花)の八重咲きの園芸品種。庭などに植えられています。屋外園には白花のヤマブキもあります。



4月の花だより

春の野草特集

京都市青少年科学センター

花の色でさがしてみましよう!

白色



青色



赤色・紫色



黄色



屋外園の散策にお使いください。使い終わったら、もとにもどしてください。